

## 藤岡市建設工事検査基準

### (目的)

第1 この技術基準は、藤岡市が執行する工事の検査に必要な技術的事項を定めることにより、検査の適切な実施を図ることを目的とする。

### (検査の内容)

第2 検査は、原則実地において行うものとし、約款及び設計図書（以下「契約図書」という。）に基づき、工事の実施状況、出来形、品質及び出来ばえについて、適否を行うものとする。

### (工事の実施状況の検査)

第3 工事の実施状況の検査は、契約図書の履行状況、工程管理、安全管理、工事施工状況及び施工体制等の工事管理状況に関する各種の記録（写真等による記録を含む。以下「各種の記録」という。）と契約図書を対比し、別表1に掲げる事項に留意して行うものとする。

### (出来形の検査)

第4 出来形の検査は、位置、出来形寸法及び出来形管理に関する各種の記録と設計図書を対比し、土木工事は別表第2、建築工事は別表第4、電気設備工事は別表第5、機械設備工事は別表第6に基づき行うものとする。ただし、外部からの観察、出来形図、写真等により出来形の適否を判断することが困難な場合は、検査員は約款の定めるところにより、必要に応じて破壊して検査を行うものとする。

### (品質の検査)

第5 品質の検査は、品質及び品質に関する各種の記録と設計図書を対比し、土木工事は別表第3、建築工事は別表第4、電気設備工事は別表第5、機械設備工事は別表第6に基づき行うものとする。ただし、外部からの観察、品質管理の状況を示す資料、写真等により品質の適否を判定することが困難な場合は、検査員は約款の定めるところにより、必要に応じて破壊して検査を行うものとする。

### (出来ばえの検査)

第6 出来ばえの検査は、仕上げ面、とおり、すり付け等の程度及び全体的な外観について目視、観察により行うものとする。

(別表第1) 工事の実施状況の検査留意事項

検査対象事項		関係書類	検査内容
1	契約書等の履行状況	契約書(約款を含む。)、仕様書	指示・承諾・協議事項等の処理内容、支給材料・貸与品及び工事発生品の処理状況、その他契約書等の履行状況
2	工事施工状況	施工計画書、工事写真、その他関係書類	工法研究、施工方法及び手戻りに対する処理状況、現場管理状況
3	工程管理	実施工程表、その他関係書類	工程管理状況及び進捗内容
4	安全管理	契約図書、工事写真、その他関係書類	安全管理状況、交通処理状況及び措置内容、関係法令の遵守状況
5	施工体制	施工計画書、施工体制台帳、その他関係書類	適正な施工体制の確保状況

(別表第2) 出来形寸法検査基準

区分	検査対象事項		検査内容	検査密度
共通	共通的 工種	矢板工	基準高、変位、根入れ長、延長	250枚につき1箇所以上(ただし、施工延長250枚以下の場合は2箇所以上)
		法枠工、吹付工(コンクリート、種子)、植生工、実播工等	厚さ、法長、間隔、幅、延長	200mにつき1箇所以上(ただし、施工延長200m以下の場合は2箇所以上)又は面積の20%
			吹付け厚、ラス張	厚さ、ラス張確認施工管理記録等により200㎡毎に1箇所以上(ただし、200㎡以下は2箇所以上)
	基礎工	基準高、根入れ長、偏心量	1基又は1目地間当たり1箇所以上	
	石積・ブロック積(張)工・擁壁工	基準高、法長、法勾配、厚さ、延長	100mにつき1箇所以上(ただし、施工延長100m以下の場合は2箇所以上)	
	一般舗装工	路盤工	基準高、幅、厚さ	基準高、幅は200mにつき1箇所以上(ただし、施工延長200m以下の場合は2箇所以上)、厚さは施工管理記録等により200m(安定処理工は1,000㎡)につき1箇所以上(ただし、200m(安定処理工は1,000㎡以下)以下は2箇所以上)
		舗装工	幅、厚さ、平坦性	厚さはコア採取結果記録等により、1,000㎡につき1箇所以上(ただし、施工面積1,000㎡以下は2箇所以上)
	地盤改良工	基準高、幅、厚さ、横断勾配、延長	200mにつき1箇所以上(ただし、施工延長200m以下の場合は2箇所以上)	
	土工	基準高、幅、法長	200mにつき1箇所以上(ただし、施工延長200m以下の場合は2箇所以上)	
	河川	築堤、護岸	基準高、幅、厚さ、高さ、延長	200mにつき1箇所以上(ただし、施工延長200m以下の場合は2箇所以上)
浚渫(川)		基準高、幅、深さ、延長		
樋門・樋管		基準高、幅、厚さ、延長	水門・樋門・樋管は本体部、呑口部につき構造図の寸法表示箇所の任意部分管渠は同種構造物毎2箇所以上	
水門				
砂防	砂防ダム	基準高、幅、厚さ、延長	構造図の寸法表示箇所の任意箇所(3箇所以上)	
	流路工	基準高、幅、厚さ、高さ、延長	200mにつき1箇所以上(ただし、施工延長200m以下の場合は2箇所以上)	
	斜面对策	基準高、幅、厚さ、高さ、延長	100mにつき1箇所以上(ただし、施工延長100m以下の場合は2箇所以上)	
ダム	コンクリートダム	基準高、幅、ジョイント、堤長	5ジョイントにつき1箇所以上	
	フィルダム	基準高、外側境界線	5測点につき1箇所以上	
道路	道路改良	基準高、幅、厚さ、高さ、延長	100mにつき1箇所以上(ただし、施工延長100m以下の場合は2箇所以上)	
	橋梁下部	基準高、幅、厚さ、高さ、支間(スパン)長、変位	スパン長はスパン毎 その他は同構造物毎に1基以上につき構造図の寸法表示箇所の任意部分	
	鋼橋上部	部材寸法	部材寸法は主要部材について、寸法表示箇所の任意部分	
		基準高、支間長、中心間距離、キャンバー	5径間以上は2径間につき1箇所以上(ただし、5径間未満は2箇所以上)	
	コンクリート橋上部	部材寸法	部材寸法は主要部材について、寸法表示箇所の任意部分	

			基準高、支間長、中心間距離、キャンバー	5 径間以上は 2 径間につき 1 箇所以上(ただし、5 径間未満は 2 箇所以上)	
		トンネル	基準高、幅、厚さ、高さ、深さ、間隔、延長	両杭口を含めて、100mにつき 1 箇所以上(ただし、施工延長 200m以下の場合は両杭口を含めて 3 箇所以上)	
土木	下水道	開削工・推進工	管の種別形状、寸法	測定、品質管理	200mにつき 1 箇所以上(ただし、施工延長 200m以下の場合は 2 箇所以上)
			基準高、延長	測定	200mにつき 1 箇所以上(ただし、施工延長 200m以下の場合は 2 箇所以上)
			仕上り状況	漏水の有無、継手部の状況、ひび割れ状況、中心線とのずれ	適宜
			使用材料	資料、写真	適宜
		シールド工	管の種別形状、寸法	測定、品質管理	200mにつき 1 箇所以上(ただし、施工延長 200m以下の場合は 2 箇所以上)
			基準高、延長	測定	200mにつき 1 箇所以上(ただし、施工延長 200m以下の場合は 2 箇所以上)
			セグメントの組立状況	写真により判定	適宜
			覆工厚	写真により判定	適宜
			仕上り状況	漏水の有無、ひび割れ状況、注入孔、緊結ボルト孔の閉塞状況、裏込注入孔の注入量、中心線とのずれ	適宜
		函渠・開渠工	基準高、延長	測定	200mにつき 1 箇所以上(ただし、施工延長 200m以下の場合は 2 箇所以上)
			形状、寸法	幅、高さ、厚さ測定	200mにつき 1 箇所以上(ただし、施工延長 200m以下の場合は 2 箇所以上)
			鉄筋工	設計図書、仕様書と写真照合	適宜
	施工状況		漏水の有無、継手部の状況、ひび割れ状況、コンクリート面の仕上がり状況	適宜	
	マンホール工	形状、寸法	内法、深さ、厚さ測定	200mにつき 1 箇所以上(ただし、施工延長 200m以下の場合は 2 箇所以上)	
		足掛金物	材質と取付状況	適宜	
		インバート工	仕上げ状況	適宜	
		側塊の形状・寸法及び材質	測定、品質管理、据付状況	適宜	
		蓋の据付		適宜	
		副管工	本管及び側壁との据付状況	適宜	
	森林土木	共通事項	延長、測点、点間距離	長さは実測	全箇所
			曲線半径		IP 数の 20%
法線			設計図との関係調査	適宜	
縦断施工高			起点、変位点、終点	全延長の 20%	
横断出来形			図面との出来形照合	40m毎に 1 箇所	
構造物寸法			長さ、幅、高さ、角度	全箇所	

	林道	延長、測点、点間距離	長さは実測	延長の20%	
		横断出来形	図面との出来形照合	100mにつき1箇所(ただし、施工延長100m以下の場合は2箇所以上、施工延長40m以下の場合は1箇所)	
		構造物寸法	長さ、幅、高さ、角度	構造物毎に全数量の20%以上	
	法切工	法切勾配及び延長	施工箇所毎に全数量の20%以上		
	階段切付工	法切勾配及び延長	施工箇所毎に全数量の20%以上		
	植栽工	植栽本数	施工箇所毎に植栽本数の20%以上		
	柵工・筋工	延長	施工箇所毎に全数量の20%以上		
	種子付ネット張工	面積	施工箇所毎に全数量の20%以上		
	農業土木	用水路	既製品使用水路(現場内部分は現場打準用)	基準高、幅、勾配の調査	200m毎に1箇所(ただし、3箇所以上)
				止水板及び目地の機能調査	
水抜きの高さ寸法、機能調査					
附帯構造物		基準高、形状寸法	適宜		
施設		灌水施設	数量、規格等	適宜	
		水管橋	形状寸法	適宜	
ほ場整備		水田整地工 畑地整地工	相対高、均平度(水田整地のみ)、掘起こしによる表土厚の確認、畦畔工	全耕区の10%	
			開畑工	ほ区面積は辺長検査 耕起深、心土破碎深 雑物処理	全筆の1% 写真、記録により1ha毎 写真、記録適宜
		客土工	掘り起こしによる厚さの確認	全耕区の10%	
			改良投入量	写真、記録全数	
			土質	土質試験結果資料等により5ha毎に1点	
		暗渠排水工 湧水処理工	延長	全数の10%	
			埋設深、被覆材厚	写真、記録適宜	
			水甲	全般目視	
		圧力管路	延長	全数	
			管種、管径、圧力、溶接	写真又は現地全数	
			埋設深等	200m毎に1箇所(ただし、3箇所以上)	
			漏水の有無	試験結果記録等により適宜	
		その他	弁類	位置、機能確認	全般目視
管体基礎工等			形状寸法、位置、施工状況	全箇所の20%写真及び記録適宜	
調整池、吸水槽、排水槽	基準高、幅、高さ、厚さ		50m毎に3箇所以上		
	配筋、止水板、目地、水抜き		適宜		
敷砂利道	厚さ		200m毎に1箇所		
土水路	延長、形状寸法		200m毎に1箇所		
管渠工	基準高、埋設深、延長		適宜		
大盛土	基準高、埋設深、法勾配、締固め状態(写真記録全数)		40m毎に1箇所		
浚渫工	基準高	縦方向は測点毎、横方向は10点毎に1点			

- 注) (1) 検査は実地において行うことを原則とするが、特別の理由により実地において検査できない場合、当該工事の主体とならない工種及び不可視部分については、出来形管理図表、写真、ビデオ、品質証明書等により検査することができる。
- (2) 検査員は現場の状況により判断し、検査箇所、検査数及び検査の取りやめを定めることができる。
- (3) 規定個数で判定値が許容範囲外に出た場合は、更に必要量の個数で判定することができる。

- (4) 路盤工及び舗装工についての抽出検査の検査位置の指定は、測点を外した無作為指定位置とする。
- (5) この表によりがたい場合は、群馬県土木工事施工管理基準に定める出来形管理基準及び規格値によるものとする。

(別表第3) 品質検査基準

工種	検査対象事項		検査内容	検査方法
土木	共通	材料	品質及び寸法は設計図書と対比して適切か	(1)主として観察又は材料確認記録簿等により検査する。 (2)場合により実施する。
		無筋、鉄筋コンクリート	コンクリートの強度、スランプ、塩化物総量値、アルカリ骨材反応対策等は設計図書に対比して適切か	(1)主に施工管理記録及び観察により検査する。 (2)場合により実測する。
		ブロック積(張)工	築石の長さ及び胴込コンクリートの充填状況	(1)施工管理記録及び観察により検査する。 (2)場合により実測する。
		基礎工	(1)支持力は設計図書と対比して適切か (2)基礎の位置上部との整合等は適切か	(1)主に施工管理記録及び観察により検査する。 (2)場合により実測する。
		コンクリート構造	コンクリートの強度	(1)テストハンマ試験結果記録により検査する。(注-1,2) (2)場合により実測する。
		構造物の機能	構造物又は付属設備等の性能は設計図書と対比して適切か	(1)主に施工管理記録及び観察により検査する。
		道路工	舗装工	路盤工
アスファルト舗装工	アスファルト使用量、骨材粒度、密度及び舗設温度は設計図書と対比して適切か			(1)主に既に採取されたコア及び現地の観察ならびに施工管理記録により検査する。 (2)場合により実測する。

注意 1 テストハンマ試験記録による検査密度は別表-1による。

2 テストハンマによる強度試験は破壊検査とにならない。

テストハンマ試験記録による品質検査密度 別表-1

区分		検査対象事項	検査密度
共通	コンクリート強度	土木	施工管理記録により検査する。 それ以外は100mごとに3箇所
		森林土木	コンクリート構造物 20 m <sup>2</sup> ごとに1箇所
		農業土木	調整池・給水槽・排水槽 100mごとに3箇所

(別表第4) 建築工事検査基準

工種	検査対象事項	検査内容	検査方法
共通事項	工事記録	協議記録の確認	
		工事写真及び資料等による確認	
		完成図の確認	
(A) 建築主体工事			
1 仮設工事	1 根切り	種別と施工場所と撤去の確認	観察
	2 標準地盤	B.M. の表示と保護の確認	
	3 後片付け	工事残材の撤去と敷地内の清掃及び整地の確認	
2 土工事	1 根切り	形状、寸法、根切底部の不陸等の有無の確認	資料
	2 地形	土質の確認	
	3 埋戻し	材質、寸法及び締固め良否の確認	
	残土処分	残土処分の方法と締固め良否の確認	
		有害物有無の確認	
	4 山留	種別、施工場所の相違の有無の確認	
3 地業工事	1 材質規格寸法、数量	設計との対比	資料
		破損、ひび割れ等の有無の確認	
	2 支持力	設計との対比	
	3 施工状況	基準高、傾斜、芯のずれの有無、杭頭処理の良否の確認	
		抵抗施工の適否	
		杭打報告書の確認	
4 型枠工事	1 材種使用区分	設計との対比	資料
	2 施工状況	形状、寸法、通り等の建込み精度の確認	
		型枠内部の清掃等の良否	
		緊結金物等の適否	
		アンカーボルト、木レガ、インサート等の位置、間隔及び固定の良否	
		型枠存置期間の確認	
5 コンクリート工事	1 材種	設計との対比	観察 実測 資料
	2 調合及びスランプ 指定強度	日本産業規格表示許可工場の確認	
		強度及びスランプ試験成績適否の確認	
		工程表に基づく施工計画の適否	
	3 施工状況	打設状況及び打継処理の適否	
		打上り精度の良否と養生方法の適否	
打設までの運搬時間の適否の確認			
6 鉄筋工事	1 材質規格寸法	規格証明の確認	資料
	2 施工状況	強度試験成績の確認	
		鉄筋加工の適否	
	3 圧接	径、本数、位置、間隔継ぎ手位置、定着長さの適否の確認	
		かぶり厚さ、結束、その他組立全般の施工良否の確認	
		圧接工の資格証明の確認	
		圧接位置、圧接結果、適否の確認	
		試験結果の確認	

工種	検査対象事項	検査内容	検査方法
7 鉄骨工事	1 材種規格品質 2 施工状況	規格証明の確認	観察 実測 資料
		指定寸法とロール傷等の有無の確認	
		スパン、桁行、軒高等の確認	
		筋違及びブレース等の確認	
		ボルト種別、径及び本数と穴径の確認	
		トルクの測定	
		溶接部表面、スラグ等の除去と溶接部分の欠陥の有無の確認	
		建込み精度の確認	
		HTB、リベット接合部のすき、ゆるみ、変形等の欠陥の有無の確認	
		溶接工資格証明の確認	
	防錆塗装	品質の確認	
		塗装下地処理の良否	
8 防水工事	1 材料 工法 2 施工状況	設計との対比	観察 実測 資料
		防水保証書有無の確認	
		下地及び勾配の良否	
		防水各層の確認	
		継手部分の重ね長さや端部のはがれ等の有無の確認	
		ルーフトレン廻りの施工の良否	
		防水押え及びモルタル塗り等の施工の良否	
		防水押え目地切の適否	
		塗り厚、目地の位置の適否と水勾配の良否の確認	
		シーリング施工の良否	
		出隅、入隅施工の適否	
		き裂、浮き等の有無の確認	
		漏水テストの確認	
		養生方法の適否	
		9 補強コンクリートブロック工事	
割れ、破損等有無の確認			
割付及び高さ、配筋間隔の適否			
建入れ、通り及び目地施工の良否			
モルタル詰め、目地詰め施工の良否			
取付金具の施工の適否			
養生方法の適否			
10 ALC パネル工事	1 材種、規格寸法 2 施工状況	設計との対比	観察 実測 資料
		割れ、破損等有無の確認	
		取付金具施工の適否	
		敷モルタル、詰めモルタル施工の良否	
		シーリング施工の良否	

工種	検査対象事項	検査内容	検査方法
11 石工事	1 材種等級工法 2 施工状況	設計との対比	観察 実測 資料
		傷、破損等有無の確認	
		裏込めモルタル充てん、通り、目違い等の施工の良否	
		補強金物と施工の良否	
		水抜きパイプの材質、径及び間隔、水勾配の適否	
		表面仕上げ及び清掃の良否	
		養生方法の適否	
12 タイル工事	1 材種、品質工法 2 施工状況	設計との対比	観察 実測 資料
		色むら、ねじれ有無の確認	
		割付の良否の確認	
		目地及び目地詰めモルタルの施工の良否	
		目違い、不陸、はく離の有無の確認	
		床排水に対する水勾配の良否	
		清掃及び養生方法の適否	
13 木工事	1 材種等級寸法 2 施工状況	設計との対比	観察 実測 資料
		現寸施工図の確認	
		仕口及び継ぎ手の適否	
		かなな仕上げの良否の確認	
		建込み状況の良否	
		釘及び金物使用の適否	
		防腐剤塗布状況の適否	
		ラワン材の防虫処理有無の確認	
養生方法の適否			
14 金属工事	1 材種、形状寸法 2 施工状況	設計との対比	観察 実測 資料
		形状及び寸法の確認	
		素地処理の適否	
		取付け工法及び溶接部の良否の確認	
		モルタル詰め及びビス止め等施工の良否	
		防錆施工の良否	
		清掃及び養生の良否	
15 屋根及び とい工事  イ) 長尺金 属板葺 折板葺   ロ) 瓦葺	1 材種、寸法工法 2 施工状況	設計との対比	観察 実測 資料
		傷等の有無の確認	
		鉄板厚の確認	
		吊子及び釘止めの間隔及び施工の適否	
		雨返し、立上り等の継手及び雨仕舞の適否	
	とい類	径、継手、勾配、支持金物及び間隔の適否の確認	
		防錆塗装の良否	
		設計との対比	
	1 材種、寸法工法 2 施工状況	割れ、傷等有無の確認	
		重ね長さ、留付け金物の位置及び施工の適否	
雨仕舞の適否の確認			

工種	検査対象事項	検査内容	検査方法
16 左官工事	1 仕様、品質工法	設計との対比	観察 実測 資料
		下地処理状況の適否	
		各種塗り厚の確認	
		定規通しの良否	
		勾配及び水平等の良否	
		き裂、浮き、コテむら欠損等有無の確認	
		サッシ廻り、枠廻り等のモルタル詰め良否	
		研出し及び艶出しの施工の良否	
		養生方法の適否	
17 建具工事 イ) 木製建具 ロ) 鋼製及びアルミ建具	1 材種、形状規格、寸法、数量	設計との対比	観察 実測 資料
		そり、ゆがみ、破損等有無の確認	
	2 施工状況	釣込み精度の確認	
		開閉及び施錠等の良否	
	付属金物施工の適否の確認		
	養生方法の適否		
	設計との対比		
	素地処理の良否		
	防錆材料の適否と施工の適否		
	釣込み精度の良否とアンカー溶接の適否		
	開閉及び施錠等の良否		
	付属金物施工の適否の確認		
	養生方法の適否		
	18 ガラス工事	1 材種、規格寸法	
2 施工状況			取付シール材の適否
		ガラス掛けしろとガラス留めの施工の適否	
		敷パテの施工良否の確認	
清掃の適否			
19 塗装工事	1 材種、規格	設計との対比	観察 資料
		2 施工状況	
	塗装回数確認		
	汚れ、色むら、はけむら等有無の確認		
	養生方法		

工種	検査対象事項	検査内容	検査方法
20 内装工事	1 材種、規格寸法 2 施工状況	設計との対比	観察 実測 資料
		認定規格等の確認	
		接着剤の適否	
		割付、目地通し、目違い、不陸等の良否	
		破損及び傷等の有無	
		釘及びビス止め間隔と位置の適否	
		下地処理施工の良否	
		模様合せの要否	
		色違い、汚れ等の有無	
		死節、ぬけ節、胴割れ、きしみの有無の確認	
		サンダー掛け施工の適否	
		養生方法の適否	
		不陸、すき間、ふくろ傷等有無の確認	
		手かけ有無の確認	
21 雑工事	1 材種、形状、寸法、材質 2 施工状況、戸棚類、流し類、掃除具入れ、黒板、カーテンレール、その他	設計との対比	観察 実測 資料
		施工位置の確認	
		開閉機能の良否と付属金物の適否の確認	
		通気孔等有無の確認	
		取付状況の良否と塗装の施工良否の確認	
		養生方法と清掃有無の確認	

(別表第5) 電気設備工事検査基準

工種	検査対象事項	検査内容	検査方法	備考
1 配管、配線工事 (電力、弱電、屋内、屋外配線)	金属管配線 合成樹脂管配線 可とう電線管配線 ライティングダクト配線 金属ダクト配線 フロアダクト配線 金属線び配線 合成樹脂線び配線 バスダクト配線 ケーブル配線 平形保護層配線 通信用フラットケーブル配線 光ファイバケーブル配線 床上配線 架空配線 地中配線	種類、形状寸法、数量の計測 配管、配線の確認 電線類、電線管類管路類接続、支持方法及び支持間隔 水気、湿気のある場所等特殊場所の配管、配線 ボックス等の位置、取付け建柱、装柱、支線 マンホール(ハンドホール)の位置、構造及び管路等の埋設深さ 他の工作物等の離隔 ケーブルの端末処理 接地の確認 防火区画処理 管路口防水処理	観察 実測 照合 資料	ボンディング、ブッシング、テーピング、露出配管及びネジ切り部分の塗装 予備配管の呼び線 地中埋設部の表示 埋戻し状態
2 電灯、コンセント設備工事(外灯含む)	機器、器具	種類、形状寸法、規格、容量、数量の計測及び確認 位置と取付け及び接続の確認 コンセント、スイッチ、照明器具類 分電盤、開閉器類 自動点滅器 照明器具の点滅範囲、区分 接地の確認	観察 実測 照合 機能	水気、湿気のある場所への器具仕様及び取付の配慮 器具取付けまわりの補修
3 動力設備工事	機器、器具	種類、形状寸法、規格、容量、数量の計測及び確認 位置、取付け、据付け及び接続の確認 配電盤、制御盤、開閉器、監視盤、警報盤、制御装置等接地の確認	観察 実測 照合 機能	水気、湿気のある場所への機器及び盤類の取付け配慮 保護装置、回転方向
4 接地工事	A 種接地工事 B 種接地工事 C 種接地工事 D 種接地工事	種類、形状寸法、数量の計測及び確認 接地極と接地線及び被接地物の接続 接地極の位置及び深さ 接地線の太さ、接地線の保護 接地極と他の工作物との離隔距離	観察 実測 照合	標柱、標示板、埋戻し状態 共用接地
5 避雷針設備工事	機器、器具	種類、形状寸法、数量の計測及び確認 位置及び取付けの確認 突針、支持金物、導線 突針と導線及び接地極との接続 接地極の埋設深さ及び位置 接地用端子箱の取付け位置 導線の必要な個所の保護	観察 実測 照合	接地埋設標 支線埋戻し状態 接続端子のハンダ上げ 接続個所のハンダ上げ

工種	検査対象事項	検査内容	検査方法	備考
		導線及び接地極と他の工作物との離隔距離		
6 受変電設備工事	機器、器具	形状寸法、規格、容量 固定方法、耐震施工の適否 測定及び試験、総合調整 絶縁抵抗試験 耐電圧試験 変圧器漏れ電流 動作試験 騒音 機能試験 継電器特性 接地抵抗 総合動作	観察 実測 照合 機能	取扱者等の高圧及び特別高圧の露出充電部分が容易に触れる危険な箇所 の配慮 標識類、消火器、ゴムマット、金網等
7 発電設備工事	機器、器具	種類、形状寸法、規格、容量、数量の計測及び確認 取付け及び据付けと接続の確認 耐震施工の適否 発電機、エンジン、起動盤、電源装置、その他機器等 配電盤、変圧器、その他機器等 配線の接続、支持寸法、及び支持間隔又は母線相互の間隔 保安用設備の取付け 接地の確認	観察 実測 照合 機能	取扱者との高圧及び特別高圧の露出充電部分が容易に触れる危険な箇所 の配慮 標識類 消火器 砂箱 ゴムマット 金網等
8 弱電設備工事	火災報知設備 覚醒装置設備 電気時計設備 表示設備 インターホン設備 テレビ共同受信設備 電話設備 防災設備(防煙等)	種類、方式、構造、寸法、機能、容量、数量の計測及び確認 位置と取付け及び据付け接続の確認 機器、端子盤、ワイヤープロテクター固定及び経路 接地の確認	観察 実測 照合 機能	水気、湿気のある場所への機器及び器具の取付け配慮、器具取付けまわりの補修
9 監視制御設備工事	監視制御装置 記録装置	機能(操作、監視、制御、表示) 表示画面と現場計器の整合 機能(動作、記録、表示) 据付け 耐震処置の適否	観察 実測 照合 機能	
10 計装設備工事	機器、器具	種類、方式、構造、寸法、機能、据付け	観察 実測 照合 機能	
11 電気通信設備工事	機器、器具	種類、方式、構造、寸法、機能疎通確認 据付け 耐震処置の適否	観察 実測 照合 機能	
12 その他	各種試験	測定及び試験 接地抵抗測定 絶縁抵抗測定 電解強度測定 騒音測定	実測 資料 観察	発電機

工種	検査対象事項	検査内容	検査方法	備考
		照度測定 速度測定 絶縁耐力試験 点灯試験 起動試験 動作、導通試験 機能試験 負荷試験 各種保護試験		高圧        試運転
	各種資料	検査資料 材料検査調書 各種試験成績表 各種承認図、完成図 官公署への届出及び許認可書 並びに合格書等 保守指導案内書等		製作図 施工図 取扱説明書 カタログ等

(別表第6) 機械設備工事検査基準

工種	検査対象事項	検査内容	検査方法	備考
1 共通事項 機材  機器、器具	管、管径、配管継手接合、支持保温、保冷防露塗装、弁、水栓、鋳鉄製品、金物 水槽、ダクト、ダンパー、ガラリ吸込口、吹出口 衛生器具類 送風機 冷凍機ボイラー、熱交換器 冷却塔 調和機 制御機器 一般機械器具 特殊機器等	種類、形状寸法、容量、数量の計測及び確認  機器、種類、形状寸法、容量、数量等の計測及び確認	観察 実測 照合 資料	
2 給水及び消火設備工事	弁 消火栓 消火栓箱 ノズル ホース掛 ホース 量水器 量水器箱 水栓柱 ボックス 滅菌機 ろ過機 特殊消火設備	給水及び消火配管の確認 継手及び接合方法 支持工法 保温及び防露被覆の施工状態の確認 施工区分別、順序、保温材及び厚さ 屋外埋設管の計測及び確認 揚水、消火ポンプの確認 防水層貫通部分の処理の確認 消火栓、水栓類及びバルブの法規条例等の有無の確認 塗装の確認	観察 実測 照合 資料	勾配及び空気だまり 埋設深度 保護工法
3 給湯設備工事	弁 ボックス 貯湯層 湯沸器 伸縮継手 バーナー 計器 膨張水槽 換気 煙突 ガス湯沸器の確認 塗装の確認	配管の確認 保温施工状態の確認 施工区分別、順序、保温材及び厚さ 伸縮継手の確認 給湯ポンプの確認 貯湯層及び膨張水槽の確認	観察 実測 照合 資料	往管は上り勾配 還り管は下り勾配 壁床等貫通部のスリーブ入れ 都市ガス用 液化ガス用
4 衛生・排水設備工事	汚水及び排水ます ます用ふた 掃除口 排水金物 土覆 通気管	配管の確認 通気管の確認 排水、掃除口金物の取付状態の確認 排水ポンプの確認 ますの確認 トラップの取付け どろだめの深さ インバートの施工	観察 実測 照合 資料	勾配

工種	検査対象事項	検査内容	検査方法	備考
		ますふた 防露、塗装、土覆及び基礎施工状態の確認、防水層貫通部分の処理の確認		
5 衛生器具等設備工事	和洋風便器 タンク 鏡 化粧棚 石けん入 洗面器 手洗器 水飲み器 洗濯用流し 料理用流し 実験用流し 掃除用流し 汚物流し トラップ その他器具	器具取付場所、間隔、高さ 方法の確認 防露、塗装状態の確認 防水層貫通部分の処理の確認	観察 実測 照合 資料	養生
6 ガス設備工事	機器、器具	管、弁、コック類及び器具の確認 取付け場所及び換気施工状態の確認 都市ガスの確認 液化石油ガスの確認	観察 実測 照合 機能	都市ガス設備はガス事業法、各ガス会社供給約款等により施工  液化石油ガス設備は高圧ガス法、LPガス設備接地基準及び取扱要領等により施工  ボンベ室(ボンベ転倒防止装置)調整器
7 さく井設備工事		深度の計測及び確認 管径、肉厚、数量 ストレーナの確認 種類、形状寸法、数量 埋戻し状態の確認 水替えの確認	観察 実測 照合 機能	
8 汚水処理設備工事	浄化槽	槽本体の確認 構造、形状寸法 マンホールふたの確認 形状寸法 配管の確認 空気管、汚水管、排気管 送風機の確認	観察 実測 照合 機能	

工種	検査対象事項	検査内容	検査方法	備考
		ポンプの確認 破砕機の確認 ばっ気装置の確認 沈でん装置の確認 処理水計量装置の確認 消毒装置の確認 その他付属機器の確認		
9 昇降機設備工事	機械、器具	用途別の確認 駆動装置の確認 直流、交流 積載量の確認 速度の確認 通話装置の確認 安全装置の確認 動力容量の確認 昇降路装置の確認 停止場所、昇降かご、乗場、インジケータ、操作盤及び操作方式、照明装置 電源の確認 塗装の確認 機能の確認 試運転	観察 実測 照合 機能	乗用、荷物用、小荷物専用昇降機 自動、手動の切換操作 照明(常用、非常用)
10 空気調和設備工事		配管の確認 ボイラー、冷凍機、冷却塔、発生器、熱交換器、ヘッダー ポンプ等の確認 各種付属品類の確認 風道(冷暖房用、換気用)の確認 吹出、吸込口、外気取入、排気口の確認 自動制御装置の確認 空気調和機の確認 放熱機器の確認 支持工法の確認 据付け場所及び工法の確認 保温及び防露施工状態の確認 塗装の確認 換気施工状態の確認 フード 給排風機の確認	観察 実測 照合 機能	勾配、トラップ、エア抜、冷温水蒸気ダンパー類、点検口、監視盤、総合操作盤、補助機器類、温度調節器、温湿度検出器、送さ機器等 ファンコイルユニット、送風機、加湿器、エアフィルター、電気集じん器、冷温水コイル等、グリス
11 機械器具 特殊器具等設備工事	一般機械器具 下水道施設機械器具 揚排水機場機械器具 水門設備機械器具 その他設備機械器具	据付け状態の確認 各種ポンプの確認 揚程、水量、真空度、回転数、回転方向、出力 各種ボイラーの確認 圧力、能力、煙道 各種バーナーの確認 消費量、燃料 各種ヘッダーの確認 耐圧	観察 実測 照合 機能	位置、防振、防音

工種	検査対象事項	検査内容	検査方法	備考
		各種送風機の確認 静圧、風量、出力 各種動力機器の確認 出力、回転数 各種下水道施設機器の確認 寸法、性能 各種水門機器の確認 寸法、性能		
12 その他	各種試験	試験 各種圧力試験、各種通水試験、排水試験、水張り試験、水量、静水位、動水位、水質試験、点火燃焼試験、各種機能試験	観察資料	試運転
	各種資料	検査資料 材料検査調書、各種検査調書、各種試験成績表、水質等分析結果表 各種測定結果表		
		各種承諾図 官公署等への届出及び許認可書並びに合格証等 保守指導案内書等		製作図、施工図 取扱説明書 カタログ等

注1 各種検査、試験方法は国土交通大臣官房官庁営繕部監修公共建築（改修）工事標準仕様書（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編）及び特記仕様書に記載された規格・基準並びに日本産業規格、日本農林規格等による。

2 検査の方法

- 1) 観察による判定 2) 実測による判定 3) 照合による判定  
4) 資料による判定 5) 機械等の機能上の確認

3 資料は下記による。

- 1) 設計図書                    2) 工程表                    3) 施工計画書                    4) 材料検査調書  
5) 工事写真                    6) 試験成績書                    7) 規格証明                    8) 調合計画書  
9) 施工及び現寸図                    10) 製作図                    11) 取扱説明書                    12) カタログ  
13) 官公署等への届け出及び許認可書                    14) その他工事関係書類